

知多自然観察会報告書

【行事名】 「上野新川で生き物を調べよう」 東海市エコスクール

【日 時】 2016 年 8 月 21 日（日）9：30～11：30

【場 所】 上野新川 （舟島小学校の前にて）

【天 気】 晴れ

【担 当】 南川

【参加者】 35 名 （ 大人 16 名 ・ 子供 19 名）

指導員：浅井（一）・水野（恭）・畠・森田（琢）・南川

【内 容】 今年の夏は特に酷暑が続き、暑さ対策等を心配されたが薄日が差す天候となり、川の観察日和となりました。ガサガサ好きの方々がタモとバケツを手にとって集まって見えました。市の職員の方が東海市を流れる川の現状と自然環境についての説明があり、観察会を代表して浅井さんが川の生き物の観察方法、捕え方、注意事項を説明し観察に入りました。梯子から川に入るはじめの冒険後、子供たちはタモを片手にお父さん、お母さんと一緒になりタモに入った生き物を嬉しそうにバケツに入れたりし、川のあちらこちらで感激や感性の声をあげて楽しんでいました。今年は昨年見られたフナは見られず、ドジョウもかろうじて1匹であったが、大きなウナギが（30cm～40cm）3匹捕まり、こんなところにも、大きなウナギがいるのだね！と感嘆されていた。最近ではあまり体験できない川の観察会になりました。（南川）

【観察した生き物】

（さかな）

ウナギ4匹、ドジョウ1匹、モツゴ、ウキゴリ、ビリンゴ、カダヤシ

（その他）

モクズガニ、テナガエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、ヌマガエル、ヤゴ（シオカラトンボの）、イシガメ、クサガメ、ミシippiaアカミミガメ、オケラ、

* この川の生物は年度ごとに変化があり生物の種類が安定しない。その都度（年度事）生息している川の生物に変化があり生物の固定化、固有化がされていない傾向があるのはなぜだろう？川の環境変化が多すぎるのか？・・調査する必要があると考えられる。水量、水質の変化。川の中の植生変化等・・・・・・（2015年度はフナ・ドジョウ・ハゼ仲間・メダカ・タモロコ等が多く見られたが）

【観察会の様子】

川の観察会はハシゴを使って始めの1歩



川の様子 思い思いに観察



お父さんが取れた生き物を子供さん
説明されてました。



本日取れた生き物の説明をしています。

四手網をセットしてみんなで追い込みした
何が取れたかな？大きなウナギか？



本日の主役 大ウナギ



大ウナギ



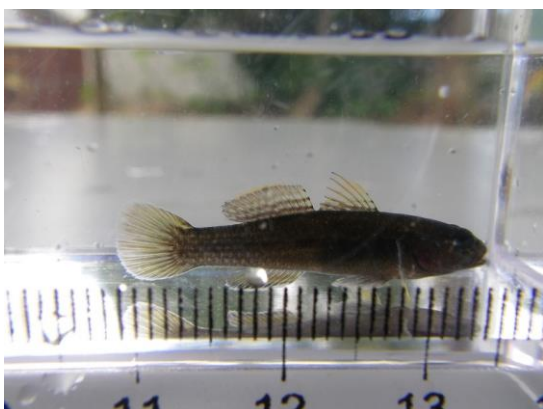
今年はこの川で取れた希少価値のドジョウ



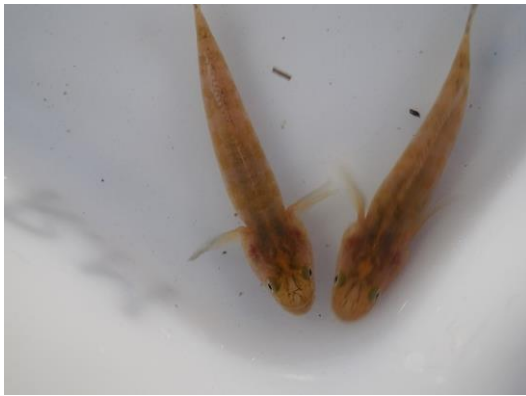
ウキゴリ



モツゴ



ビリンゴ



カダヤシ 今年はこの川ではあまり見られず



イシガメ



クサガメ



ヌマガエル



ミシシッピーアカミミガメ



¹ モクズガニ

色の薄いのは脱皮したばかりのカニ



大ウナギをやっと掴むことが出来たぞ！

